

防災ひとくちメモ

乾燥の季節、火の取り扱いに注意

5月は、乾いた空気を持つ高気圧が大陸から移動してきて北海道をたびたび覆う季節です。上川・留萌地方も広く晴れて、気温が上昇し乾燥する日が多く、一年の中で最も湿度が下がる時期となります。

また、雪どけも進み入山者が増えるため、林野火災が多く発生する時期にもあたります。北海道の『林野火災被害統計書』によると、林野火災の出火原因の多くは、「ごみ焼き」や「たばこの不始末」などの人為的な過失によるもので、未然に防ぐことができるものとされています。山菜採りや散策で山などに入る場合には、火の取り扱いには十分注意しましょう。

火災の発生や被害範囲の拡大は、空気の乾燥具合や風の強さなどの気象要因に依存します。気象台で

は、空気が乾燥し火災が発生するおそれがあると予想したときには「乾燥注意報」を、延焼のリスクが高まる強風時には「強風注意報」を発表して、火の取り扱いに注意を呼びかけます。

空気がカラカラになって火災の起こりやすいこの季節、最新の防災気象情報を確認して、火災の予防に努めましょう。

◆お問い合わせ先◆

旭川地方気象台

☎ 0166 (32) 7102

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>



※ 3月25日(火)より、「天気に関するお問い合わせ」の電話番号が変更になりましたのでお知らせします。

《新しい電話番号》

☎ 011-676-5025 (24時間利用可能・自動音声案内)

着任のごあいさつ

4月より天塩町地域おこし協力隊として着任いたしました、前川 康生（まえかわ こうせい）と申します。出身は岩手県釜石市で、大学4年間を札幌で過ごし、学芸員資格を取得しました。学芸員として博物館で働くことが夢であり、天塩町地域おこし協力隊に応募致しました。そしてこの度、学芸員としての第一歩を踏み出せる事ができました。

専門的に研究した分野は日本近現代史、樺太・サハリン史です。大学では古文書の解読スキルを主に磨いていました。また小学2年生から高校3年生まで野球をしていたこともあり、天塩の皆さんとは試合や大会などを通じて交流させていただきたいと思います。

今後の活動としては歴史や自然などの調査研究と資料整理・収集・分類、講師として小中高での地域学習、歴史資料館で企画展の実施、町史の編集業務、資料のデジタルアーカイブ化などです。これらの活動には地域の皆様のお力が不可欠となりますので、より一層皆様との関係を大事にしたいです。

人としてまだまだ未熟、力不足ではありますが、天塩町の歴史や自然、その魅力と重要性を発信していきたいです。これからよろしくお願いたします。

